

平成31年度 佐賀市立勸興小学校 教育プラン

教育目標

豊かな心で 勸興魂の実現をめざす 子どもの育成

勸興魂～勉強はベストをつくし 運動はくたくたになるまで～

めざす学校像

子ども・保護者・地域に学び 開かれた学校

笑顔あふれる学校

保護者や地域の方々が通わせたい学校・教職員が勤めたい学校

時間を大切にする学校

めざす子ども像

心身ともに

たくましい子ども

知：考える子

自ら学ぶ意欲（学欲）のある子ども

確かな学力を身につけた子ども

徳：明るい子

豊かな人間性を身につけた子ども

時間を守り進んであいさつがきる子ども

体：たくましい子

健康で明るい子ども

困難に立ち向かう強い精神力のある子ども

めざす教師像

子どもに寄り添い

プロ意識と覚悟をもった教師

温かい教師

相手を包み込む広さをもった教師

細心な教師

細心な目と心で子どもを見抜く教師

快活な教師

誠実な教師 素直な教師

謙虚さのある教師

自ら研修に励み、

柔軟な発想と姿勢をもった教師

本年度の重点目標

【学力向上の推進】

- 分かる授業の実践
- 基礎・基本の定着
- 指導方法・形態の工夫改善
- 課題解決型学習の推進
- 体験活動の充実
- 学習規律の確立
- 家庭学習の充実

【豊かなこころの育成】

- 基本的生活習慣の確立
 - ・あいさつ、くつ・スリッパ揃え、整理整頓 無言掃除
- 支持的風土にもとづく学級経営
- 道徳の時間と体験活動を関連付けた授業の実施
- ボランティア活動の推進

【特別支援教育の充実】

- 個に応じた個別指導の充実
- 「自己存在感」の醸成
- 「自己有用感」の醸成
- 自他尊重の精神の育成
- 特別支援学級の活用
- 通級指導教室の活用

本校教育の特色

『勸興読本』の活用

複数担任制による学年経営

開かれた学校づくり

危機管理体制の確立

地域との連携による教育

幼保小中連携教育

市民性を育む教育

平成31年4月19日 校長 陣内富子

I 教育プランについて

本校では、『勸興読本』等を活用し、子どもたちに本校の前身である佐賀鍋島藩の藩校「弘道館」が生んだ先人の数々の業績とその精神を学びとらせ、学校や郷土に愛着をもたせるとともに、21世紀の国際社会に貢献できる生きる力を身につけさせることを目指している。

本校区は「勸興みな一家」という言葉に表されるように、保護者や地域の方々は学校に協力的であるとともに、学校に対し大きな期待を寄せられている。保護者や地域の方々との連携をさらに密にし、知・徳・体バランスのとれた子どもの育成に努め、これらの期待に応えていく。

教育目標を「豊かな心で 勸興魂の実現をめざす 子どもの育成 勸興魂～勉強はベストをつくし 運動はくたくたになるまで～」とし、その実現に向けて※学校における働き方改革を意識しながら、6つの本校教育の特色にもとづく3つの重点目標を設定した。

1 重点目標

(1) 学力向上の推進

学力の定着・向上のため、以下の取り組みを徹底する。

- ① すべての教師が研究授業を行い、指導力の向上を図り、分かる授業の実現をめざす。
- ② 昨年度の全国学校体育研究大会授業校としての取り組みを、今年度も校内研究として継続する。体育科の授業づくりとともに、これまで積み上げてきた算数科を中心とした研究も継続し、算数科モデル授業実践、算数の理解の定着を図る毎週金曜朝の「チャレンジタイム」を継続する。
- ③ 授業において、教え学び合いの場として小集団の話し合い活動「かいわタイム」を行う。
- ④ 学校独自に4年生以上を対象に「すくすくテスト」「すくすくタイム」に取り組み、基礎学力の定着に努める。
- ⑤ 低・中・高学年別に「家庭学習・生活の心得」を配付し、宿題と自主学習に取り組みせ、家庭学習の充実に努める。
- ⑥ ICT利活用により教材のデータベース化を図り、職員で共有化し、指導方法の工夫・改善に努める。※業務時間縮減
- ⑦ 学校マネジメント支援事業による「学習プリントインターネット配信サービス」を活用し、子どもの学力に応じた学習プリントを作成・活用し、授業や家庭学習の充実に努める。※業務時間縮減
- ⑧ 全校で毎朝及び授業開始に「立腰」の時間を設け、落ち着いて授業に臨む態度を育てる。特に、朝行う「立腰」は、校内にいる全員で行い、学校全体の静寂を共有する。

(2) 豊かなこころの育成

豊かな心の育成のため、以下の取り組みを徹底する。

- ① 凡事徹底 あいさつ、くつ・スリッパ揃え、整理整頓、無言清掃
- ② 月々の生活目標を3つの「あ」（あいさつ、あんぜん、ありがとう）に集約し、子どもに分かりやすく提示するとともに指導の徹底を図る。
- ③ めざす教師像である「温かい教師」「細心な教師」「快活な教師」「謙虚さのある教師」に近づくよう努力し、支持的風土に満ちた学級経営を行う。
- ④ 道徳の時間と学校行事や他の教科等における道徳的価値を含む体験活動との関連を図り、道徳的実践力を高める。

- ⑤ 特別支援学級の子どもと通常学級の子どもとの交流（交流及び共同学習・ふれあい給食・ふれあい活動等）を行い、共生の心にあふれた学校をつくる。
- ⑥ ボランティア活動を意図的に計画し、他者への思いやりの気持ちを醸成する。

（3）特別支援教育の充実

特別支援教育を充実させ、学校内の特殊な環境のみで通じる支援に陥らず、将来の自立に向けた支援を構築していくため、以下の取り組みを徹底する。

- ① 障害のある子どもへの適切な指導及び支援を実現するため、教職員の研修を計画的に実施する。（最低年間6回）
- ② 一人一人の実態に応じた指導を行うため、全教職員が個別の指導計画（青ファイル）の作成に携わる。（毎週木曜日 16：10～）※電子データによる作成・保存を行う。
- ③ スモールステップの課題を達成することにより、自己「尊在」感・自己有用感を醸成する。
- ④ 特別支援学級・通級指導教室の担当者の専門性を生かし、通常学級に在籍する特別な配慮を必要とする子どもの支援に努める。

2 本校教育の特色

（1）複数担任制による学年経営

人間性豊かな勸興の子どもを育成するため、一人一人のよさを引き出し、認め、励ます。そのため、一学年を1組・2組の担任が連携・協力して指導する複数担任制により指導を充実させる。学級を開く意識を深める。※複数担任制を取り入れることで、担任の教材研究の時間の削減を行い、担当教科の専門性を高める。

具体的には、以下のように行う。

- ・理科の授業を1人の担任が双方の学級を指導し、社会の授業をもう1人の担任が双方の学級を指導する。
- ・総合的な学習の時間（あいあいタイム）や体育は学年合同で実施し、2人の担任が指導する。

さらに、学校全体としては、すべての教職員が「チーム勸興」の名のもと、常に子どもたちのことを最優先に考え、一致協力して子どもたちの教育に努める。

（2）開かれた学校づくり

学校だより、学年だより、学級だより、保健だより、給食だよりなどの発行を通して、学校や子どもたちの様子を適宜・適切に伝える。学校ホームページ更新に努め、タイムリーな情報提供を行う。

ゲストティーチャーや読み語りボランティア等の協力により、子どもたちに様々な視点からの教育を進める。

本校が「勸興みな一家」の一員であるとの認識に立ち、教職員は地域の行事等に積極的に参加する。

『勸興読本』等を活用し、子どもたちに本校や本校区の伝統や歴史を学ばせ、愛校心や地域を大切に思う心情を育む。

(3) 危機管理体制の確立

毎月1日を「いじめ・命を考える日」とし、子どもたちや保護者にアンケートを実施し、困り感のある子どもにはその日のうちに対応する。また、アンケート結果については教務・教頭・校長も目を通し、指導・助言を行う。さらに、全教職員で共有し、早期対応に努める。児童集会や人権集会でいじめや命について全校で考える場を設ける。

本校の地理的環境から、交通事故・不審者・水害への対応がまず必要である。交通安全教室や避難訓練等を通して、「自分の命は自分で守る」ことの大切さを教える。事案が発生した場合は、佐賀市学校情報携帯メール（緊急携帯メール）や文書等により情報提供を行い、家庭や地域とも連携し、危機的事案に対応する。

勸興小 危機管理「さしすせそ」

さ 常に**最悪**を想定する

し **慎重**な対応と言葉で

す 時間をおかずに**素早く**行動

せ 相手には**誠意**をもって

そ 一人でなく **組織**で立ち向かう

(4) 地域との連携による教育

勸興ふれあい大運動会や勸興まつり等、学校と地域の連携や協働による行事を実施する。低学年は生活科で、3年生以上は総合的な学習の時間「あいあいタイム」を中心に地域と連携した取り組みを行う。

(5) 幼保小中連携教育

幼稚園・保育所・中学校の教職員を対象に授業公開期間を設け、子どもたちの学びの状況を共有するとともに、本校職員も幼稚園・保育所の参観を行う。新入学児の学校体験にも取り組む。

小中連携については、神野小学校・成章中学校の3校で「『わかる』『わからない』が学びを創る」を研究主題として、部会を設けて研究を深め中学校への円滑な進学に努める。

職員による授業の相互参観、ワークショップの開催、本校6年生と神野小学校6年生の交流等に取り組む。

(6) 市民性を育む教育

勸興まちづくり協議会・勸興ふれあい協議会・勸興公民館・商店街・NPO法人等の方々から学校運営に関する助言を受けたり、ゲストティーチャーとして指導を受けたりするなど様々な交流活動を通して子どもたちの市民性を育む。

土曜授業については、土曜日に3時間授業を行う（6・7・9・10・12月）。成章中学校の親子活動となるべく重ならないような、親子ふれあい活動を組むようにする。通常授業（学力向上）についてもバランスを考えて取り組む。